



平成 29 年 8 月 1 日 第 80 号  
 編集・発行 厚木市農業委員会  
 〒243-8511 神奈川県厚木市中町 3-17-17  
 TEL 046-225-2480 FAX 046-223-9530  
 e-mail 9600@city.atsugi.kanagawa.jp  
 www.city.atsugi.kanagawa.jp



# 定年就農は地域と共に

温水にお住いの内藤佳康さん(69)は、近年、全国的に農家数が減少している中、定年退職を機に、JAあつぎの農業塾で1年間勉強し、地域農業の担い手として第二の人生を歩んでいます。

農家の息子としてご両親の背中を見て育ってきた佳康さんですが、「あらためて農業塾で基礎を学べたことは貴重な体験だった。」と振り返っています。

「専業農家になり、毎日時間が足りないほど忙しいですが、手を加えれば加えただけ良い物ができる。自分の思い通りの作物ができたときは嬉しくなります。」と笑顔で話してくれました。

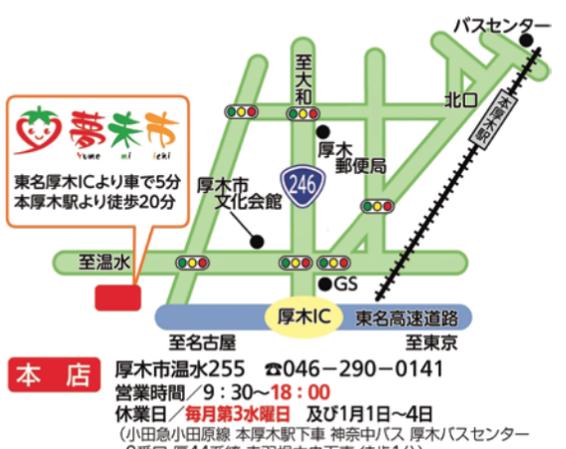
## 夢末市 平日出荷日数の部 第1位

温水の農地で、奥さまの恵美子さん(66)と一緒に収穫した作物は、JAあつぎ夢末市に出荷しています。

ご夫婦で努力した結果、「夢末市出荷者大会」の平日出荷日数の部で見事1位になりました。

春にはコマツナ、ホウレンソウ、ズッキーニ、夏と秋にはカボチャ、ナス、ピーマン、冬にはハクサイなど、年間を通して様々な野菜を出荷しています。

そうした作物を出荷する時は、お客さまとのコミュニケーション



夢末市で出荷作業をする佳康さん

- 主な内容**
- 2面... ●あゆコロちゃんにきいてみよう！  
 「人・農地プランってなあに？」  
 ●利用権設定で農地の貸し借りを  
 ●都市農業支援センターの紹介
  - 3面... ●農地パトロール実施中  
 ●農地転用許可制度  
 ●農地等の利用の最適化指針を策定
  - 4面... ●「はるみ」最高評価獲得  
 ●未来農業のかたち  
 ●新規就農者紹介  
 ●夢末市ふれあい出張販売

を特に大切にしているそうです。

「自分の野菜は、安心安全な野菜だと自信を持って勧めている。お客さまに味と名前を覚えていただけたときは、本当に嬉しいです。」とのこと。

「ここまで農業を順調にやってこれたのは、地域の方の手助けがあったからです。特に赤羽根営農集団の皆さんには、アドバイスや機械管理の協力などをいただき、とても助かっています。これから地域の方と共に協力し合い、農業を続けていきたいです。また、栽培している丸型ズッキーニや紫色のコマツナなどの珍しい野菜や現代のニーズに合った野菜を定着させていきたいです。」と抱負を語ってくれました。





# 「はるみ」最高評価獲得

## 神奈川産米 史上初の快挙

かながわ生まれ、かながわ育ちの水稲新品種「はるみ」が、日本穀物検定協会の平成28年産米の食味ランキングで神奈川産米として史上初の最高評価である「特A」の評価を受けました。

今回、特Aを取得した県央・湘南・県西産「はるみ」は、平成27年に県の奨励品種に登録されています。

両親は、キヌヒカリとコシヒカリ。

長雨等の影響により、収穫前に実が発芽してし

まう穂発芽が起こりにくいなど、キヌヒカリの栽培上の欠点を補いつつ、コシヒカリの粘りとキヌヒカリの甘みを併せ持っています。

冷めてもおいしさが保たれるため、お弁当やおにぎりなどにも適しています。

**来年秋 本格販売開始**

平成30年の秋に収穫されたものから、JAあつぎでの買い取りが開始されるため、今後、多くの農家が栽培を始める予定です。

JAあつぎ夢未市本店（1面参



照)などで本格的に販売が始まる来年、ぜひお買い求めいただき、そのおいしさを体験してください。

# 未来農業のかたち

今、新しい農業の形として「LED照明利用屋内野菜栽培」が注目を集めています。

市内でこの先進的な取り組みを行っているのは、神奈川工科大学です。

同大学は、平成24年に応用バイオ科学部応用バイオ科学科の研究棟内に「植物工学センター」を建築しました。

この植物工学センターでは、太陽光を分光した赤・緑・青色の波長のLEDを制御できる4段式水耕栽培システムを使用して、スイートバジルやスイスチャードといった野菜の栽培を研究しています。

## 研究成果を実践に

平成26年、同大学は、植物工学センターの研究実績を活用し、さ



出荷作業中の学生

そのために、安心安全でかつ新鮮な野菜を未来を担う学生に提供することができ、現在では、1か月半で約4千人分の定食用サラダを提供する

らに、栄養生命科学科の衛生管理の手法を取り入れた「野菜プラント」を新講義棟1階エントランス横に完成させました。

この施設は、応用バイオ科学科の研究結果により、分光した太陽光のうち、野菜の育成に必要な光のみを強調し、その他の光の出力を下げることで、省エネルギーでの育成を可能にしています。

写真の野菜プラントが赤紫色に見えるのは、赤・緑・青色の光のうち、植物の育成に比較的影響の少ない緑のLED照明の出力を下げているためです。

**未来のために**

この野菜プラントで収穫した野菜は、学生食堂へ出荷しているそうです。

栄養生命科学科のアドバイスを受けながら、徹底した衛生管理を行っているため、この施設には、虫の侵入がなく、無農薬で育てることが可能です。



神奈川工科大学のキャンパス

- 【問い合わせ先】 神奈川工科大学 管財課 291局3021
- ◎オープンキャンパスの日程 8月20日 10月1日 11月18日
- ◎学園祭（幾徳祭）の日程 11月4日・5日

【問い合わせ先】 神奈川工科大学 管財課 291局3021

◎オープンキャンパスの日程 8月20日 10月1日 11月18日

◎学園祭（幾徳祭）の日程 11月4日・5日

ことが出来るそうです。

オープンキャンパスや学園祭等の機会を利用して、未来の農業を見学してみたいかがでしょうか。



LED照明の出力が調整された野菜プラント

# 新規就農者紹介



平成26年に、就農した中荻野にお住いの鈴木貴さん（38）にお話を伺いました。

**就農までの経過は？**

東日本大震災が起こったとき、会社員として働いていましたが、震災により、食料の大切さを実感し、自分にできることはないだろうかと考え、就農を決意しました。

藤沢市で2年間の研修を終え、当時、就農可能だった愛川町で農業を始めましたが、厚木市で都市農業支援センターが開設されたことを知り、相談にいききました。

センターでは、農地のあっせんに加え、就農場所からほど近い住居についてのアドバイスをいただき、妻と子の3人、ここ中荻野で暮らしています。

**苦労していることは？**

研修先の農家が有機農業をされており、環境に配慮した農業に魅力を感じ、自分も挑戦しています。

同じ有機肥料でも、その時々で土との関係が変わり、農作物の出来方も変わってきてしまうため、毎日が試行錯誤の連続です。

**これからの目標は？**

私が教わったように、有機農業の技術を多くの農業者の方に伝えていきたいと思っています。

また、支えていただいている地域の方やお客さまに、よりよい作物を提供できるよう、これからも様々なことを学んでいきたいと思っています。



# 夢未市ふれあい出張販売



JAあつぎ大型農産物直売所「夢未市」が「アミューあつぎ」の店舗入り口に特別出店しています。

市内産の新鮮な野菜、果物や「かながわブランド」に認定された厚木産「キヌヒカリ」などを販売しています。

生産者と消費者との触れ合いの場として、また、厚木の台所として市民の皆さまに親しまれていく夢未市の特別出店でぜひお越しください。



**出店日時** 毎月第3土曜日 午前10時から午後2時まで

※ 行事等により、日時の変更や実施しない場合があります。